

① ○○○○株式会社
 ○○ 水素ステーション

(様式1付表1) 記入例 補助対象設備及び補助対象経費②

	品名	金額(概算)	消費税等	計
機 器 費	1 受電設備	7,000,000		
	2 原料ガス設備	4,000,000		
	3 水素製造装置	155,000,000		
	4 水素液化装置	0		
	5 液化水素貯槽・気化器	0		
	6 水素燃料輸送用設備・接続装置	8,000,000		
	7 圧縮機	125,000,000		
	8 蓄圧器	60,000,000		
	9 ディスペンサー	45,000,000		
	10 プレクーラー	40,000,000		
	11 冷却水装置	3,000,000		
	12 計装空気設備・窒素設備	2,000,000		
	13 散水設備・貯水槽	4,000,000		
	14 制御装置・監視装置・検知警報設備	9,000,000		
	15 その他設備	0		
	機器費小計	462,000,000		
設 置 工 事 費 等	16 設計費	13,000,000		
	17 官公庁申請費	1,000,000		
	18 基礎工事費	6,000,000		
	19 撤去工事費	6,000,000		
	20 現地配管工事	10,000,000		
	21 据付工事費	6,000,000		
	22 試運転調整費	7,000,000		
	23 舗装工事費	4,500,000		
	24 給排水設備工事費	5,500,000		
	25 照明設備工事費	2,000,000		
	26 電気工事費	9,000,000		
	27 共通仮設費	2,500,000		
	28 現場管理費	7,500,000		
	29 一般管理費	8,000,000		
	30 諸経費	0		
	31 工事負担金	0		
	設置工事費等小計	88,000,000		
	合計(概算)	550,000,000	55,000,000	605,000,000

① 補助事業者氏名又は名称、及びステーション名称を記入する

② 金額(概算)
 ・当該補助対象設備だけを分離した経費であること(補助対象外の経費を含めない)
 ・金額(概算)は作成要領Ⅱ-I.3(4)補助対象範囲の品名(定義)に沿って積算し記入する
 ・センターに対し、概算根拠を示せるようにしておくこと
 例) 基礎工事費 機器基礎費用○○○○千円+地盤改良費用△△△△千円
 舗装工事費 コンクリート舗装 ○○千円/m²×△△△m²
 ・「19. 現地配管工事」「23. 給排水工事費」「24. 照明設備工事費」については、配管材料又は機器を含めて計上する
 ・「14. その他設備」「29. 諸経費」に計上する経費があるときは予めセンターに相談すること
 ・金額は円単位
 <オプションを計上する場合>
 ・当該水素供給設備とオプションの経費を合算し、様式1付表1「補助対象設備及び補助対象経費」を1枚作成する
 (水素供給設備とオプションの経費を分けたものは不要)

③ 撤去工事費は、水素供給設備を設置するために必要な撤去工事であり、設置設備の投影面積の範囲の撤去及び現状復帰工事費とする
 ・撤去された設備の移設・処理や土壌の処分は対象外とする

④ 「公共建築工事共通費積算基準(平成28年12月改定)」による額を越えないこと
 (「公共建築工事積算基準(平成28年12月改定)」に準ずる)

⑤ 合計(概算)税抜き額を「様式第1 交付申請書」補助対象経費欄に転記する

※ 消費税等の記入は任意とする